

いのちの輝きを見つめる

*Meiji*

第147期  
事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

# ● 経営の基本方針

当社グループは、「夢と楽しさ、いのちの輝きを大切にし、世界の人々の心豊かなくらしに、貢献します」を企業理念に掲げ、「おいしさと健康」を創造するグローバルな企業集団として、これからもお客様にとって価値のある商品・サービス・情報を提供してまいります。

そして、お客様の喜びを大切にすることを第一に、社員一人ひとりの個性も尊重しながら、健全な収益体制のもとで活力ある発展を目指し、社会への責務を果たしてまいります。

## CONTENTS

|                        |    |
|------------------------|----|
| 株主の皆様へ                 | 1  |
| 営業の概況（連結）              | 2  |
| 連結貸借対照表                | 6  |
| 連結損益計算書／連結キャッシュ・フロー計算書 | 7  |
| 単独貸借対照表                | 8  |
| 単独損益計算書／利益処分           | 9  |
| 業績の推移／連結子法人等           | 10 |
| 子会社レポート                | 11 |
| 新製品紹介                  | 12 |
| トピックス                  | 14 |
| 役員／従業員／主要な事業所          | 16 |
| 株式の状況                  | 17 |

## 2006年度経営方針

1

既存分野でのシェア拡大と新たな顧客ニーズへのチャレンジ（フード&ヘルスケアカンパニー）

- (1) 「健康」を中核としたビジネスモデルの確立
- (2) チョコレート・ガム市場におけるシェア拡大と新ジャンルの確立
- (3) 中国市場での事業拡大

2

構造改革の断行と新たな事業戦略の確立（薬品カンパニー）

- (1) 経営資源の重点投入によるジェネリック事業体制の構築
- (2) 研究開発戦略の全面的見直しと開発3品目の開発スピードアップ
- (3) 感染症・中枢神経系領域における営業力の強化と国内外での売上拡大

3

CSR（企業の社会的責任）経営の徹底

- (1) 「安全・安心」な商品提供
- (2) コンプライアンスの組織内への徹底

4

「バランス・スコア・カード」を活用した目標管理の徹底

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社は、おかげさまで本年創立90周年を迎えることとなりました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

さて、当社は3月31日をもちまして、第147期事業年度を終了いたしましたので、ここに事業報告書をお届けし、営業の概況等をご報告申し上げます。

当社グループでは、2005年度（2006年3月期）を最終年度とする中期経営計画「チャレンジ2005」に取り組み、当初の目標を超える利益水準を実現することができました。

この成果をもとに、この度、2008年度（2009年3月期）を最終年度とする新たな中期経営計画「DASH! 08」を策定しました。

新中期経営計画「DASH! 08」では、将来の進むべき方向を明確にし、当社グループが2008年度に目指すビジョンとして、

- ① **Meiji**ブランドが、「おいしい・楽しい」「健康」「安心」というイメージで、お客様からより広く認知されている姿を追求してまいります。
- ② 連結売上高4,400億円、連結経常利益200億円の達成を目指してまいります。

上記の実現に向けた主要事業の取組みとしては、

**菓子事業**につきましては、既存商品のシェア拡大に努めるとともに、チルドチョコレート、高カカオ分チョコレート、ギフト等大人向けの市場開拓を他社に先駆けて展開してまいります。また、ガムについては、特定保健用食品の許可を取得するなど、一段と健康志向を推進してまいります。加えて、高品質で安全・安心な商品をフレキシブルにローコストで生産する「明治製菓生産方式（MPS）」を確立することにより、収益基盤を強化してまいります。

**健康事業**につきましては、確固たる地位を築くために、独自性のある商品の開発やお客様との関係づくりなどに努め、食業兼業の強みを活かした特徴あるビジネスモデルを確立し、展開してまいります。また、株式会社明治スポーツプラザを中核と

して、「食とスポーツの融合」による健康ソリューションビジネスも提案してまいります。

**薬品事業**につきましては、開発中の新薬の早期上市に努めるとともに、医療費抑制の流れを受け市場の伸長が期待できるジェネリック分野での事業拡大も図ってまいります。医療ニーズに沿った特徴ある製品の拡充やMR（医薬情報担当者）全員を活用したプロモーション展開などにより、ジェネリック事業の基盤を早期に整備し、「スペシャリティ&ジェネリック・ファーマ」としての発展を目指してまいります。

**海外事業**につきましては、中国を中心にアジア諸国や北米等の地域において引き続き事業を拡大し、この3年間で売上高に占める海外比率を約20%まで高めてまいります。特に中国におきましては、上海近郊に建設中の菓子工場が本年夏より稼働を開始します。

以上に加え、当社グループでは、安全で質の高い製品・サービスを提供するとともに、社会と共生し、社会から必要とされる企業として発展しつづけるために、今後も**CSR（企業の社会的責任）経営**の一層の徹底を図ってまいります。

今後とも一層のご愛顧ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役社長 佐藤尚忠

## 営業の概況（連結）

当期のわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加が進み、また個人消費も上向くなど、緩やかな回復傾向にありましたが、原油価格の高騰や原材料価格の上昇による影響が顕在化しており、先行きが見定めにくい状況下にあります。

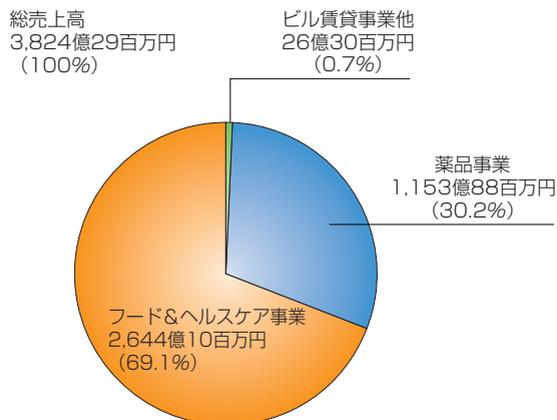
このような事業環境下、当社グループは、当期を最終年度とする中期経営計画「チャレンジ2005」の実現を図るべく構造改革から事業拡大へと軸足を移してまいりました。特に、当期は「健康」領域を中心に積極的な事業展開を図り、昨年7月にフード&ヘルスケアカンパニーを発足させるなど、さらなる市場競争力の強化を進め、売上の拡大と収益力の回復に努めてまいりました。

この結果、当期における連結売上高は3,824億29百万円（前期比5.1%増）、当期純利益は86億78百万円（前期当期純損失82億40百万円）となりました。

当社グループの事業別売上高の状況は下のグラフのとおりであります。

なお、当期の連結子法人等は、10ページに記載しております。

### ●売上高構成比（連結）



昨年7月に食料カンパニーとヘルスケアカンパニーを統合・再編し、フード&ヘルスケアカンパニーを発足させました。これにより当期より事業区分を変更しております。

フード&ヘルスケア事業を取り巻く環境は、菓子の消費は依然として横ばいに推移するとともに、健康分野は拡大基調にあるものの新規参入企業も多く競争が激化し、厳しいものとなりました。

このような状況下、当社グループは、消費者ニーズを先取りした差別優位性のある新商品の開発や戦略的なブランド別マーケティングの展開により、売上の拡大に努めてまいりました。この結果、フード&ヘルスケア事業の連結売上高は2,644億10百万円（前期比5.0%増）となりました。なお、フード&ヘルスケア事業の前期実績は、従来の食料事業とヘルスケア事業の合計にて算出してあります。

菓子事業につきましては、チョコレートは、消費者の健康志向を背景とした高カカオ分チョコレートへの関心の高まりから、品揃えの拡充を図った「チョコレート効果」やカカオ豆にこだわった新商品「ノワール」が売上に寄与し好調に推移しました。また、発売80周年を迎える「ミルクチョコレート」も、根強いブラン



ドカにより堅調に推移し、ナッツ群は「アーモンドチョコレート」「マカダミアチョコレート」を中心に増売となりました。ガムは、主力の「キシリッシュ」がキャンペーンなど積極的な販促活動の展開により大幅に伸長し、キャンデーも、袋入り「チエルシー」の新商品が大幅に売上を伸ばし好調に推移しました。スナック・ビスケットは、市場全体が冷え込んだものの、前期並みの売上を確保しました。



健康事業につきましては、「ザバス」は市場競争の激化から減売となりましたが、「アミノコラーゲン」はリニューアルや品揃えの拡充により大幅な増売となりました。カシス製品は、カシスに関する啓蒙普及活動を積極的に展開し、



健康事業につきましては、「ザバス」は市場競争の激化から減売となりましたが、「アミノコラーゲン」はリニューアルや品揃えの拡充により大幅な増売となりました。



市場の拡大に努めております。また、ココアは主力の「ミルクココア」が堅調に推移しましたが、レトルトカレーは、店頭販促活動を積極的に展開したものの減売となりました。



うがい薬「イソジン」は、店頭露出を強化するなど販促活動に取り組みましたが減売となりました。

海外事業につきましては、輸出は、アジア周辺国への拡売および中国市場への展開により大幅に伸長しました。輸入は、カカオへの関心の高まりからチョコレートが伸長するとともに、バレンタイン商品の拡売により好調に推移しました。

業務用食材事業につきましては、技術力を活かしたチョコレート・ココア関連製品の開発や、コンビニエンスストアやファミリーレストランへの新規導入が奏功し、大幅に伸長しました。

### ■菓子事業主要製品

チョコレート（ミルクチョコレート、チョコレート効果、ブラック、ハイミルク、ホワイト、ストロベリー、ノール、メルティーキッス、ポルテ、アーモンド、マカダミア、うすまきアーモンド、フラン、きのこの山、たけのこの里、ホルン、ガルボ、レガ、シヨパン、プッカ、アポロ、マーブル、チョコベビー、プチアソートほか）、キャンデー（チエルシー、ヨーグレット、ハイレモン、果汁グミ、ポイフル、キュン、ぷぷるん、もぎもぎフルーツ、サイコロキャラメルほか）、ガム（キシリッシュほか）、スナック（カール、カールスティック、北海道ポテト、ピックアップほか）、ビスケット（マクビティ、コパンほか）

連結子法人等の業績につきましては、国内では、株式会社明治フードマテリアは、主力の砂糖における主要取引先との取引条件が変更されたことにより減売となりました。一方、明治チューインガム株式会社は、これまで培った商品開発力とマーケティングの強化により好調に推移しました。また、スポーツクラブ施設を経営する株式会社明治スポーツプラザは、昨年5月に東京ガススポーツ株式会社所有のフィットネスクラブを譲り受けたことにより大幅に業容が拡大しました。海外では、明治製菓シンガポール社は、現地市場および近隣諸国での増売により順調に推移しました。米国のスタウファー・ビスケット社も重点品目の絞込みと積極的な販路拡大により堅調に推移しました。

■健康事業(一般用医薬品含む)・業務用食材事業主要製品  
アミノコラーゲン、ザバス、ローラ、パーフェクトプラス、プロテインダイエット、嗜好飲料(テオプロ、ミルクココア、おいしいココアほか)、レトルトカレー(銀座カリー、銀座ハヤシ、銀座カリー上・ビーフ、菜カリーほか)、調理食品(JALスープほか)、農産缶詰  
イソジンうがい薬、イソジンのどフレッシュF、解熱鎮痛薬バイエルアスピリン、明治Gトローチ、かぜ薬ヘルビックS顆粒、ミドリンク剤活蔘28ほか  
業務用菓子・食品材料、砂糖、糖化製品ほか

薬品事業におきましては、医療費抑制策の浸透、新薬開発を巡る競争激化や研究開発費用の増大等により引き続き厳しい事業環境が続いております。このような状況下、当社グループは、国内では、引き続き重点販売品目に資源を集中的に投下して積極的な営業活動を展開し、また、海外では、主力製品を中心に着実な学術普及活動により販売国の拡大を図りました。この結果、薬品事業の連結売上高は1,153億88百万円(前期比5.3%増)となりました。

医療用医薬品につきましては、抗菌薬は、市場が縮小する厳しい環境下において、主力製品の「メイアクト」「オメガシン」は好調に推移しました。一方、「ハベカシン」「ホスミシン」は競争激化により減売となりました。



中枢神経系用薬は、抗うつ薬「デプロメール」が、専任のMR(医薬情報担当者)による積極的な学術普及活動に加え、わが国で初めて「社会不安障害」の適応承認を取得し、大幅な増売となりました。また、抗不安薬「メイラックス」も順調に売上を伸ばしました。

その他の医療用医薬品は、外用消毒薬「イソジン」は競争の激化により減売となりました。また、アレルギー性疾患治療薬「エバステル」は新製剤(口腔内崩壊錠)の市場投入の効果はありま



したが、当期は花粉の飛散量が前期に比べ少なかったことにより減売となりました。

農薬は、主力のいもち病防除剤「オリゼメート」が増売となり、総じて順調に推移しました。

動物薬は、抗菌剤の市場縮小や品目整理の推進などの減売要因もありましたが、積極的な営業活動が寄与し、前期を上回る売上を確保しました。

海外事業につきましては、高品質を特長に着実な学術普及活動を実施した飼料添加物「コリスチン」の大幅な輸出増に加え、「メイアクト」もトルコをはじめ欧州を中心に好調に推移し、大幅な増売となりました。

連結子法人等の業績につきましては、国内では、北里薬品産業株式会社は、インフルエンザワクチンが好調に推移し増売となりました。一方、富士アミドケミカル株式会社は、競合品との競争激化により減売となりました。なお、富士アミドケミカル株式会社につきましては、本年3月に南海化学工業株式会社へ当社所有の全株式を譲渡しました。海外では、東南アジアのP.T.メイジ・インドネシア社は、現地向け販売の低迷により減売となりましたが、タイ・メイジ社は、積極的な営業活動により「メイアクト」「ホスミシン」を中心とした現地向け販売が好調に推移し増売となりました。また、スペインのテデック・メイジ・ファルマ社も一昨年秋に発売した「メイアクト」の寄与により大幅な増売となりました。



### ■薬品事業主要製品

|           |  |
|-----------|--|
| 医療用医薬品    | 抗菌薬（メイアクト、ホスミシン、ハベカシン、スオード、オメガシン、シプロキサソホカ）、中枢神経系用薬（抗うつ薬デプロメール、抗不安薬メイラックス）、その他の医療用医薬品（外用消毒薬イソジン、アレルギー性疾患治療薬エバステル、抗悪性腫瘍薬テラルピシン、抗ウイルス化学療法薬ビクロックスホカ）、人体用ワクチン |
| 農薬<br>動物薬 | 農薬（Dr.オリゼプリンズ、オリゼメート、ハービー、アグレプト、ジベレリンほか）、動物薬（メイポール、メイリッチ、アストップ、マイコバスター、ポセイドン、マリンバンテル、小動物用薬品ほか）、飼料添加物（コリスチン、セルラーゼほか）                                      |

## ビル賃貸事業他

首都圏における大規模ビルの需給環境は企業業績の回復で活発化しており、主力のオフィスビル「ソリッドスクエア」も、新規テナントの積極的誘致が奏功し好調に推移しました。

この結果、ビル賃貸事業他としての収入は26億300万円（前期比0.1%増）となりました。なお、「ビル賃貸事業他」の前期実績には、昨年3月に清算した株式会社明治開発の業績が含まれております。

# 連結貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 科目              | 当期             | 前期             | 科目               | 当期             | 前期             |
|-----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| <b>資産の部</b>     | <b>348,281</b> | <b>339,848</b> | <b>負債の部</b>      | <b>187,622</b> | <b>192,403</b> |
| <b>流動資産</b>     | <b>153,293</b> | <b>160,255</b> | <b>流動負債</b>      | <b>86,976</b>  | <b>84,880</b>  |
| 現金および預金         | 18,980         | 23,357         | 支払手形および買掛金       | 27,164         | 26,097         |
| 受取手形および売掛金      | 78,519         | 76,365         | 短期借入金            | 23,511         | 17,223         |
| たな卸資産           | 43,752         | 44,897         | 未払費用             | 12,654         | 11,931         |
| 繰延税金資産          | 5,765          | 5,694          | 未払法人税等           | 4,170          | 3,514          |
| その他             | 6,304          | 10,036         | 賞与引当金            | 4,345          | 4,838          |
| 貸倒引当金           | △ 28           | △ 95           | 売上割戻引当金          | 4,713          | 4,670          |
| <b>固定資産</b>     | <b>194,988</b> | <b>179,592</b> | その他              | 10,417         | 16,605         |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>136,764</b> | <b>139,906</b> | <b>固定負債</b>      | <b>100,645</b> | <b>107,522</b> |
| 建物および構築物        | 73,036         | 75,521         | 社債               | 40,000         | 40,000         |
| 機械装置および運搬具      | 35,976         | 36,142         | 長期借入金            | 17,485         | 24,118         |
| 工具器具備品          | 2,123          | 2,269          | 長期繰延税金負債         | 13,642         | 6,238          |
| 土地              | 23,968         | 24,965         | 退職給付引当金          | 24,765         | 32,451         |
| 建設仮勘定           | 1,658          | 1,008          | 役員退職慰労引当金        | 533            | 528            |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>6,271</b>   | <b>4,257</b>   | その他              | 4,218          | 4,185          |
| 連結調整勘定          | 2,635          | 2,115          | <b>少数株主持分</b>    | <b>2,897</b>   | <b>2,607</b>   |
| その他             | 3,636          | 2,142          | <b>資本の部</b>      | <b>157,761</b> | <b>144,837</b> |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>51,951</b>  | <b>35,428</b>  | <b>資本金</b>       | <b>28,363</b>  | <b>28,363</b>  |
| 投資有価証券          | 45,064         | 31,159         | <b>資本剰余金</b>     | <b>34,948</b>  | <b>34,946</b>  |
| 長期繰延税金資産        | 284            | 240            | <b>利益剰余金</b>     | <b>79,595</b>  | <b>73,611</b>  |
| その他             | 7,546          | 4,993          | <b>株式等評価差額金</b>  | <b>17,730</b>  | <b>10,407</b>  |
| 貸倒引当金           | △ 943          | △ 965          | <b>為替換算調整勘定</b>  | <b>△ 642</b>   | <b>△ 1,514</b> |
| <b>資産合計</b>     | <b>348,281</b> | <b>339,848</b> | <b>自己株式</b>      | <b>△ 2,233</b> | <b>△ 977</b>   |
|                 |                |                | 負債・少数株主持分および資本合計 | <b>348,281</b> | <b>339,848</b> |

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 217,436百万円 209,450百万円

2. 受取手形割引高 76百万円 30百万円

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科目                 | 当期      | 前期      |
|--------------------|---------|---------|
| (経常損益の部)           |         |         |
| 営業損益の部             |         |         |
| 営業収益               | 382,429 | 364,018 |
| 売上高                | 382,429 | 364,018 |
| 営業費用               | 365,968 | 355,300 |
| 売上原価               | 213,069 | 206,231 |
| 返品調整引当金繰入額         | 30      | 200     |
| 販売費および一般管理費        | 152,869 | 148,869 |
| 営業利益               | 16,460  | 8,717   |
| 営業外損益の部            |         |         |
| 営業外収益              | 2,141   | 2,367   |
| 受取利息・配当金           | 507     | 458     |
| 持分法による投資利益         | 131     | 108     |
| その他の営業外収益          | 1,501   | 1,800   |
| 営業外費用              | 2,441   | 2,581   |
| 支払利息               | 1,283   | 1,227   |
| その他の営業外費用          | 1,157   | 1,354   |
| 経常利益               | 16,160  | 8,503   |
| (特別損益の部)           |         |         |
| 特別利益               | 1,570   | 2,946   |
| 固定資産売却益            | 1,161   | 2,558   |
| 関係会社清算益            | 315     | —       |
| 投資有価証券売却益          | —       | 182     |
| その他の特別利益           | 93      | 205     |
| 特別損失               | 1,309   | 23,779  |
| 固定資産廃棄損            | 904     | 950     |
| 関係会社株式売却損          | 20      | —       |
| 退職給付に関する未認識債務一括償却額 | —       | 13,295  |
| 事業構造改善費用           | —       | 7,337   |
| その他の特別損失           | 384     | 2,197   |
| 税金等調整前当期純利益        | 16,422  | —       |
| 税金等調整前当期純損失        | —       | 12,330  |
| 法人税・住民税および事業税      | 5,105   | 3,728   |
| 法人税等調整額            | 2,062   | △ 8,283 |
| 少数株主利益             | 575     | 464     |
| 当期純利益              | 8,678   | —       |
| 当期純損失              | —       | 8,240   |

(注) 1株当たりの当期純利益 22円41銭 —  
1株当たりの当期純損失 — 21円53銭

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科目                       | 当期       | 前期       |
|--------------------------|----------|----------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー     | 19,513   | 16,731   |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー     | △ 18,822 | △ 16,772 |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー     | △ 4,687  | 11,977   |
| 現金および<br>現金同等物に係る換算差額    | 105      | 21       |
| 現金および<br>現金同等物の増減額(減少:△) | △ 3,890  | 11,957   |
| 現金および<br>現金同等物の期首残高      | 22,646   | 10,688   |
| 現金および<br>現金同等物の期末残高      | 18,755   | 22,646   |

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単独貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 科目            | 当期             | 前期             | 科目               | 当期             | 前期             |
|---------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| <b>資産の部</b>   | <b>316,698</b> | <b>311,376</b> | <b>負債の部</b>      | <b>167,417</b> | <b>173,151</b> |
| <b>流動資産</b>   | <b>128,105</b> | <b>137,454</b> | <b>流動負債</b>      | <b>70,602</b>  | <b>68,759</b>  |
| 現金・預金         | 11,693         | 16,937         | 支払手形および買掛金       | 22,909         | 22,971         |
| 受取手形および売掛金    | 67,120         | 65,465         | 短期借入金            | 16,663         | 10,404         |
| 商品・製品・半製品     | 20,958         | 20,417         | 未払金              | 4,843          | 7,966          |
| 原材料           | 7,159          | 8,428          | 未払費用             | 10,243         | 9,893          |
| 仕掛品           | 8,445          | 9,662          | 未払法人税等           | 3,198          | 2,534          |
| 繰延税金資産        | 4,975          | 4,771          | 賞与引当金            | 3,827          | 3,926          |
| その他の流動資産      | 7,768          | 11,813         | 返品調整引当金          | 290            | 260            |
| 貸倒引当金         | △ 15           | △ 42           | 売上割戻引当金          | 4,713          | 4,670          |
| <b>固定資産</b>   | <b>188,592</b> | <b>173,921</b> | その他の流動負債         | 3,913          | 6,131          |
| <b>有形固定資産</b> | <b>120,292</b> | <b>123,213</b> | <b>固定負債</b>      | <b>96,814</b>  | <b>104,392</b> |
| 建物および構築物      | 66,359         | 69,528         | 社債               | 40,000         | 40,000         |
| 機械装置          | 29,109         | 28,888         | 長期借入金            | 15,522         | 22,552         |
| 車両運搬具         | 98             | 122            | 長期繰延税金負債         | 12,947         | 5,753          |
| 工具器具備品        | 1,731          | 1,931          | 退職給付引当金          | 23,939         | 31,677         |
| 土地            | 21,400         | 21,786         | 役員退職慰労引当金        | 448            | 449            |
| 建設仮勘定         | 1,593          | 954            | その他の固定負債         | 3,957          | 3,960          |
| <b>無形固定資産</b> | <b>3,012</b>   | <b>1,498</b>   | <b>資本の部</b>      | <b>149,280</b> | <b>138,224</b> |
| 投資その他の資産      | 65,287         | 49,210         | <b>資本金</b>       | <b>28,363</b>  | <b>28,363</b>  |
| 投資有価証券        | 42,226         | 28,541         | <b>資本剰余金</b>     | <b>34,948</b>  | <b>34,946</b>  |
| 関係会社株式        | 15,855         | 16,234         | 資本準備金            | 34,935         | 34,935         |
| 出資金           | 457            | 370            | その他資本剰余金         | 12             | 11             |
| 関係会社出資金       | 4,163          | 1,757          | <b>利益剰余金</b>     | <b>70,908</b>  | <b>65,714</b>  |
| 長期貸付金         | 1,709          | 1,411          | 利益準備金            | 7,090          | 7,090          |
| その他の投資        | 1,818          | 1,860          | 任意積立金            | 55,851         | 65,552         |
| 貸倒引当金         | △ 943          | △ 965          | 固定資産圧縮積立金        | 22,851         | 23,052         |
| <b>資産合計</b>   | <b>316,698</b> | <b>311,376</b> | 別途積立金            | 33,000         | 42,500         |
|               |                |                | 当期末処分利益          | 7,965          | —              |
|               |                |                | 当期末処理損失          | —              | 6,928          |
|               |                |                | <b>株式等評価差額金</b>  | <b>17,294</b>  | <b>10,177</b>  |
|               |                |                | <b>自己株式</b>      | <b>△ 2,233</b> | <b>△ 977</b>   |
|               |                |                | <b>負債および資本合計</b> | <b>316,698</b> | <b>311,376</b> |

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 196,058百万円 188,339百万円

2. 受取手形割引高 76百万円 30百万円

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単独損益計算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科目                 | 当期      | 前期      |
|--------------------|---------|---------|
| <b>(経常損益の部)</b>    |         |         |
| 営業損益の部             |         |         |
| 営業収益               | 289,125 | 271,546 |
| 売上高                | 289,125 | 271,546 |
| 営業費用               | 277,660 | 267,132 |
| 売上原価               | 140,367 | 132,020 |
| 返品調整引当金繰入額         | 30      | 200     |
| 販売費および一般管理費        | 137,262 | 134,912 |
| 営業利益               | 11,465  | 4,413   |
| 営業外損益の部            |         |         |
| 営業外収益              | 2,805   | 3,192   |
| 受取利息・配当金           | 1,211   | 1,183   |
| 雑収入                | 1,594   | 2,008   |
| 営業外費用              | 2,017   | 2,155   |
| 支払利息               | 1,067   | 1,045   |
| 雑損                 | 949     | 1,109   |
| 経常利益               | 12,254  | 5,450   |
| <b>(特別損益の部)</b>    |         |         |
| 特別利益               | 1,941   | 2,091   |
| 固定資産売却益            | 910     | 1,889   |
| 関係会社株式売却益          | 634     | —       |
| 関係会社清算益            | 315     | —       |
| 投資有価証券売却益          | —       | 182     |
| その他の特別利益           | 80      | 19      |
| 特別損失               | 1,059   | 23,324  |
| 固定資産廃棄損            | 850     | 836     |
| 退職給付に関する未認識債務一括償却額 | —       | 13,295  |
| 事業構造改善費用           | —       | 7,137   |
| その他の特別損失           | 209     | 2,055   |
| 税引前当期純利益           | 13,136  | —       |
| 税引前当期純損失           | —       | 15,782  |
| 法人税、住民税および事業税      | 3,214   | 2,077   |
| 法人税等調整額            | 2,045   | △ 8,313 |
| 当期純利益              | 7,876   | —       |
| 当期純損失              | —       | 9,545   |
| 前期繰越利益             | 1,430   | 2,841   |
| 中間配当額              | 1,341   | 1,340   |
| 事業再編に伴う剰余金受入高      | —       | 1,115   |
| 当期未処分利益            | 7,965   | —       |
| 当期未処理損失            | —       | 6,928   |

(注) 1株当たりの当期純利益 20円34銭 —  
1株当たりの当期純損失 — 24円90銭

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 利益処分

(単位：円)

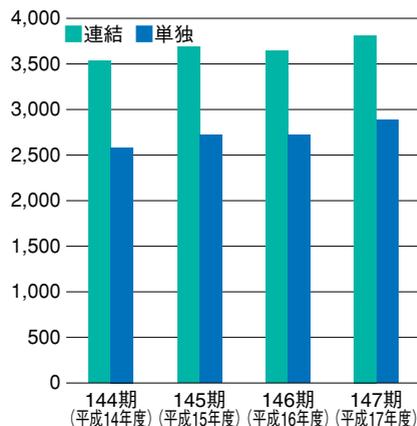
| 科目               | 当期              | 前期              |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 当期未処分利益          | 7,965,788,948   | —               |
| 当期未処理損失          | —               | 6,928,724,771   |
| 任意積立金取崩額         | 1,204,778,167   | 10,774,439,675  |
| 固定資産圧縮積立金取崩額     | 1,204,778,167   | 1,274,439,675   |
| 別途積立金取崩額         | —               | 9,500,000,000   |
| 計                | 9,170,567,115   | 3,845,714,904   |
| これを次のとおり処分いたします。 |                 |                 |
| 利益配当金            | 2,478,240,648   | 1,341,764,242   |
| 1株につき6円50銭       | 1株につき3円50銭      | 1株につき3円50銭      |
| (普通配当)           | (1,334,437,272) | (1,341,764,242) |
| 1株につき3円50銭       | 1株につき3円50銭      | 1株につき3円50銭      |
| (創立90周年記念配当)     | (1,143,803,376) | —               |
| 1株につき3円          | —               | —               |
| 取締役賞与金           | 86,000,000      | —               |
| 固定資産圧縮積立金        | 432,079,045     | 1,073,534,965   |
| 別途積立金            | 3,500,000,000   | —               |
| 次期繰越利益           | 2,674,247,422   | 1,430,415,697   |

(注) 1. 平成17年12月9日に1,341,604,894円(1株につき3円50銭)の中間配当を実施いたしました。  
2. 固定資産圧縮積立金の取崩額および積立額は、租税特別措置法に基づくものであります。

# 業績の推移

## 売上高

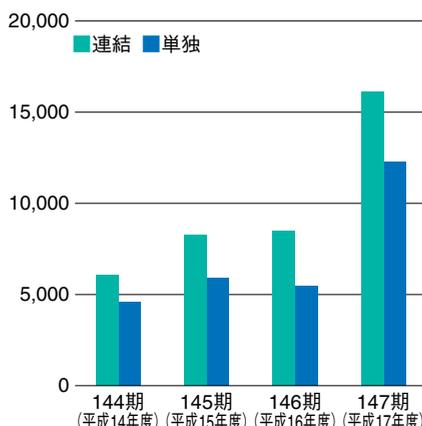
(単位：億円)



|    |       |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 連結 | 3,534 | 3,688 | 3,640 | 3,824 |
| 単独 | 2,582 | 2,719 | 2,715 | 2,891 |

## 経常利益

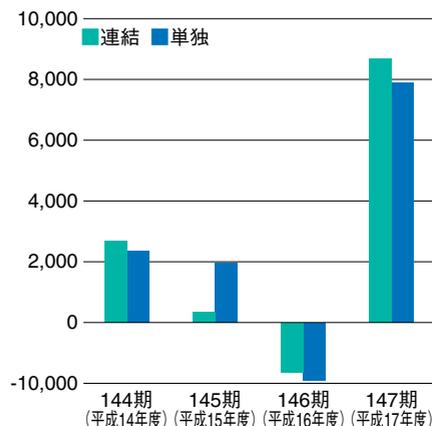
(単位：百万円)



|    |       |       |       |        |
|----|-------|-------|-------|--------|
| 連結 | 6,072 | 8,243 | 8,503 | 16,160 |
| 単独 | 4,581 | 5,892 | 5,450 | 12,254 |

## 当期純利益

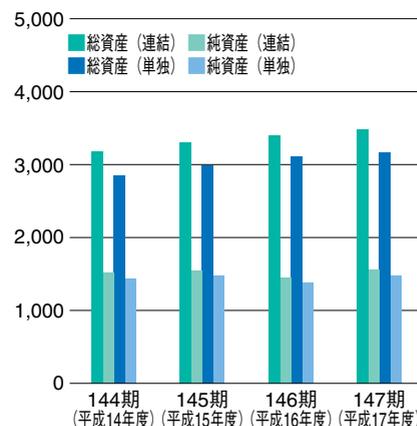
(単位：百万円)



|    |       |       |        |       |
|----|-------|-------|--------|-------|
| 連結 | 2,670 | 348   | △8,240 | 8,678 |
| 単独 | 2,352 | 1,971 | △9,545 | 7,876 |

## 総資産・純資産

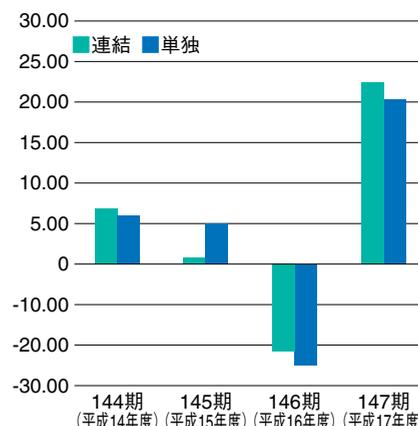
(単位：億円)



|          |       |       |       |       |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 総資産 (連結) | 3,177 | 3,300 | 3,398 | 3,482 |
| 総資産 (単独) | 2,851 | 2,988 | 3,113 | 3,166 |
| 純資産 (連結) | 1,522 | 1,545 | 1,448 | 1,577 |
| 純資産 (単独) | 1,435 | 1,480 | 1,382 | 1,492 |

## 1株当たりの当期純利益

(単位：円)



|    |      |      |        |       |
|----|------|------|--------|-------|
| 連結 | 6.83 | 0.79 | △21.53 | 22.41 |
| 単独 | 6.03 | 5.04 | △24.90 | 20.34 |

## 連結子法人等

株式会社明治フードマテリア  
 道南食品株式会社  
 蔵王食品株式会社  
 株式会社ロンド  
 明治産業株式会社  
 明治チュースティック株式会社  
 株式会社アステカ  
 岡山県食品株式会社  
 四国明治株式会社  
 太平洋食品株式会社  
 株式会社明治スポーツプラザ  
 明治アスポート株式会社  
 北里薬品産業株式会社  
 Meiji Seika (Singapore) Pte. Ltd. (シンガポール)  
 D.F.Stauffer Biscuit Co., Inc. (アメリカ)  
 Laguna Cookie Co., Inc. (アメリカ)  
 P.T. Meiji Indonesian Pharmaceutical Industries (インドネシア)  
 Thai Meiji Pharmaceutical Co., Ltd. (タイ)  
 Tedec-Meiji Farma S.A. (スペイン)  
 Mabo Farma S.A. (スペイン)  
 Meiji Seika Europe B.V. (オランダ)

(備考) 当期の当社グループの連結範囲は、上記連結子法人等21社のほかに、持分法適用会社が1社あります。

## 株式会社 Rond



本社工場外観

株式会社 Rond は昭和55年7月に明治製菓株式会社の100%出資子会社として創立しました。当社は、ボトルチョコレートや子供向け商品など自社ブランド品の生産・販売の

会社としてスタートしましたが、平成11年に自社ブランド品から撤退し、明治製菓品を主体とする生産子会社に生まれ変わり現在に至っております。

当社は、横浜市都筑区にあり首都圏のほぼ中心に位置しております。従業員数は350名で、明治製菓品の「ノワール」「チョコレート効果」「たけのこの里」「メルティーキッス」「ポポロン」「ピックアップ」「パーフェクトプラス」等を中心に生産し、平成18年3月期の売上高は41億7千万円となっております。

今後も明治製菓グループの中核企業として、「お客様に安全・安心を提供」し、喜んでいただける製品づくりに全社一丸となって取り組むとともに、「コンプライアンスの徹底」を定着させ「環境と調和」で地域社会に信頼される企業を目指してまいります。



主な製品

## D.F. Stauffer Biscuit Co., Inc.



本社工場外観

D.F. Stauffer Biscuit Co., Inc. は、米国ペンシルバニア州に本拠地を置く1871年創業の老舗ビスケット会社メーカーです。1990年に明治製菓株式会社が資本参加しグループの一員とな

った後、2004年には明治製菓株式会社の100%出資子会社となりました。ペンシルバニア州・ヨーク市以外に、ニューヨーク州・キューバ市にも工場を有し、さらにカリフォルニア州・サンタアナ市にも100%子会社であるラグーナ・クッキー社の工場があります。

クッキー、クラッカーを中心に大手スーパーマーケット、会員制クラブストア、ドラッグストア等を通じて全米へ商品を供給しており、2005年度の連結売上高は約145億円となっております。また、一部の製品は輸入品専門店等で日本でも販売されております。

主力商品は、「アニマルクラッカー」をはじめ、「チェダー・ホエール・クラッカー」「ジンジャースナップス・クッキー」、ラグーナブランドの高級クッキー等があります。特に熊の形をした容器にアニマルクラッカーを詰めたアニマルジャグシリーズは全米で人気商品となっております。

当社は、今後も明治製菓グループ海外事業の中核を担う企業として、事業の拡大を図るとともに、明治製菓グループが創り出す「おいしさ、楽しさ」を世界の人々に提供し続けてまいります。



主な製品

# フード&ヘルスケア

## ● ショパン

### キャラメルショコラ

チョコレートのカップにヘーゼルナッツの香りの豊富な大人味のキャラメルショコラを注ぎ、重ね焼きクレープをのせたデザートチョコです。



## ● メルティーキッス 濃いちご

磨きをかけた口どけと、とっておきの素材へのこだわり。イチゴチョコレートに含まれるイチゴ成分を生で換算して約98%配合しました。驚きのリアルないちご感を実現しました。



## ● 果汁グミぶぶるん マスカット味

ぶるぶるした柔らかなセンターグミを、果汁グミで包んだダブルの食感が味わえるグミです。女性に人気の高いコラーゲンを1袋に1,500mg配合しました。



## ● チョコカール

ココアを練り込んだカールにミルクチョコレートをコーティングしました。さくさくした食感としっとりミルクチョコのハーモニーが味わえます。



## ● ノワール

「香り・味・コク・後引き感」などのおいしさの要素をカカオ豆で表現した、ミルク分を含まない本格スイートチョコレートです。カカオ分を63%含有し、甘さ控えめで心地よい苦味が特長です。



## ● リッチフラン 粒いちご

さくさくのココアビスケットを粒タバニラ入りのふんわりしたホワイトショコラと甘酸っぱい粒いちごの果肉が入ったストロベリーショコラでダブルコーティングしたリッチな味わいのフランです。



## ● キシリッシュガム 梅ブロッサム

噛んだ瞬間に広がる爽やかな酸味が朝のイメージにピッタリのガムです。梅の華やかなおいしさで爽やかな酸味ですっきりとした朝を演出します。



## ● チョコレート効果カカオ86% (ボックス、ボトル) (一部地区発売)

カカオ分86%の本格的なビターチョコレート。カカオの華やかな香りと深いコク、ほのかな甘みと上質な苦味が特長です。パッケージにはカカオ分とカカオマスポリフェノール量の表示をしています。



## ● たけのこの里 メープル&マカダミア

クランチマカダミア入りのさくさくクッキーにメープル風味のチョコとまろやかな味わいのチョコをダブルコートしたたけのこの里です。



## ● キシリッシュガム カシスミント

女性層に人気の高いカシスをテーマにしたキシリッシュです。話題のカシスエキスを配合、特有の甘酸っぱさが味わえ、お口もスッキリします。



## ● アミノコラーゲン ドリンク

実感できるコラーゲン量、溶けやすさ、飲みやすさを追求した話題の「アミノコラーゲン」に、手軽に、おいしく飲めるドリンクタイプが新登場！

薬局・薬店で求められます。



滝沢秀明



## ● アミノコラーゲンプレシャス

大人気の「アミノコラーゲン」に保湿成分ヒアルロン酸を配合。ひとつ上ゆく、しっとり実感。いつもよりもっと輝きたい女性のための基礎美容食品です。

薬局・薬店で求められます。



## ●カシス-i EX／ドリンク

### 【カシス-i EX】

注目の成分カシスアントシアニンを3粒当たり50mg摂取でき、また話題のルテイン、β-カロテン、ビタミンCやビタミンE等を配合。パソコン作業の多い方、夜間運転の多い方に。

薬局・薬店でお求めになれます。



### 【カシス-iドリンク】

話題の成分、カシスポリフェノールを1本当たり130mg配合。酸味を効かせた爽やかな味わいで、100ml当たり18kcalと低カロリー。朝起きて鏡が気になる方、パソコン作業が多い方に。



## ●テオプロ袋

香り豆と呼ばれる高品質のエクアドル産カカオ豆を贅沢に使用した大人のためのプレミアムココア。香りとココアパウダーを絶妙にブレンドして、ビター感のある味わいを実現しました。



## ●テオプロ ココア ミルク

マイルドタイプのココアを求める声にお応えし、テオプロシリーズにミルク贅沢なまるやかなココアが新登場。低温乾燥ミルクを使い、フレッシュ感と豊かな味わいをお届けします。



## ●銀座カリー 上・ビーフ

淡路島産の玉ねぎの旨み、レーズンと黒みつでコクを出し、バターモンテで香り高く仕上げたカレーソースに、じっくり煮込んだ牛すね肉を使用しました。



## ●銀座ハヤシ 上・ビーフ

淡路島産の玉ねぎの旨み、デュクセルソースと赤ワインを効かせ、バターモンテで仕上げた濃厚なハヤシソースに、やわらかい牛仔肉を使用しました。



## ●ザバスプロテインタイプ2 ネオ・タイプ3 ネオ

ホエイプロテインとソイプロテインを主成分にBCAA（分岐鎖アミノ酸：バリン、ロイシン、イソロイシン）を強化した球技系競技用のタイプ2ネオとソイプロテインにマルトデキストリンを強化した持久系競技用のタイプ3ネオです。

薬局・薬店・スポーツ店でお求めになれます。



吉田秀彦

上原浩治



## ●まるごと野菜シリーズ

1袋で、1日の理想摂取量の1/3以上の緑黄色野菜と淡色野菜がバランスよく摂れ、野菜のうま味がたっぷりな具だくさんスープが、袋ごとレンジで温められる<レンジアップ>になって新登場。



## ●イソジンきず薬

イソジンきず薬が、新パッケージになって登場！ 各種の細菌、真菌、ウイルスなどの広範囲の微生物に対し、迅速な殺菌・消毒効果を発揮します。

薬局・薬店でお求めになれます。



## 「ノワール」「チョコレート効果」など高カカオ分チョコレートが好調



「チョコレートダイエット」やカカオポリフェノールの健康機能が話題となり、特にカカオ成分の含有量の多いチョコレートがマスメディアで大きく取り上げられたことから、高カカオ分チョコレートや従来のビター系のチョコレートが大きく伸びました。特にカカオ成分含有量が72%で、健康とおいしさ考えた大人向けの「チョコレート効果」の売上が好調でした。今後も有望な市場と考え、カカオ成分含有量99%の「チョコレート効果」等品揃えの強化を図ってまいります。また、大人のためのカカオをたのしむ本格的なスイートチョコレートとして、「ノワール」がその品質を高く評価され、大ヒットとなりました。

「チョコレートダイエット」やカカオポリフェノールの健康機能が話題となり、特にカカオ成分の含有量の多いチョコレートがマスメディアで大きく取り上げられたことから、高カカオ分チョコレートや従来のビター系のチョコレートが大きく伸びました。特にカカオ成分含有量が72%で、健康とおいしさ考えた大人向けの「チョコレート効果」の売上が好調でした。今後も有望な市場と考え、カカオ成分含有量99%の「チョコレート効果」等品揃えの強化を図ってまいります。また、大人のためのカカオをたのしむ本格的なスイートチョコレートとして、「ノワール」がその品質を高く評価され、大ヒットとなりました。



香取慎吾

## 「キシリッシュ」爽やかなイメージと歌ガムが好評



ガムの市場規模が縮小傾向にあるなかで、当社「キシリッシュ」の売上は好調に推移しました。広告のコンセプトである「いい息、さわやかな息」を広く訴求するために、福山雅治さんを起用し、爽やかなイメージをコミカルなタッチで描いたテレビコマーシャルが大変好評でした。また、昨年の秋に展開した「歌ガムキャンペーン」では、デジタルツールを活用した仕組みが大きな反響を呼んで、ファン層も拡大し、ブランド全体として大きく伸びました。

本年春には「モーニングライム」「梅ブロッサム」を投入し、「朝専用ガム」という新たな食シーンの提案を行いました。



福山雅治

## デプロメール社会不安障害（SAD） 適応追加

2005年10月11日、当社薬品事業の主力製品の一つである抗うつ薬「デプロメール」が、社会不安障害の効能追加における厚生労働省の承認をわが国で初めて取得しました。社会不安障害とは、人と会う、会議で意見を述べるなど、他人の前で行動する状況の中で過剰な不安を覚え、そのような状況を回避しようとするあまり、日常生活に支障をきたしてしまう障害です。また、患者さんによってはうつ状態に陥るなど、さらに重大な支障をきたすことがあります。「デプロメール」は、こうした患者さんの不安や恐怖を取り除くことで回避行動を減らし、患者さんの生活の質の向上に貢献することが期待されます。この度の社会不安障害の適応追加により、今後一層精神神経疾患の治療に貢献してまいります。



## 「スペシャリティ&ジェネリック・ファーマ」を目指して

新中期経営計画「DASH!08」においては、これまで医薬品事業で培ってきたノウハウとブランドイメージを基盤に、感染症治療薬・中枢神経系用薬に並ぶ柱としてジェネリック分野を強化し、「スペシャリティ&ジェネリック・ファーマ」という新しいビジネスモデルを確立していく方針です。ジェネリック医薬品は、政府による医療費抑制策を背景に今後急速な市場拡大が予測されています。当社は、1995年、新薬メーカーとしていち早く同分野に参入し、現在では高品質かつ安価で利便性に優れた「ユースフル」な製品を多数の医療機関に提供しています。一層の事業規模拡大を目指して、新薬とともにジェネリック分野を力強く推進し、「DASH!08」の目標達成と当社の発展に大きく貢献してまいります。



主な製品

## 役員

(平成18年6月28日現在)

### ●取締役および監査役

|   |       |    |    |    |    |
|---|-------|----|----|----|----|
| ※ | 代表取締役 | 佐高 | 藤橋 | 尚昭 | 忠男 |
| ※ | 代表取締役 | 高大 | 橋坪 | 昭正 | 允喜 |
| ※ | 専任取締役 | 長松 | 崎尾 | 正正 | 彦彦 |
| ※ | 専任取締役 | 塚松 | 西長 | 治政 | 信幸 |
| ※ | 専任取締役 | 森矢 | 嶋藤 | 宏英 | 史敏 |
| ※ | 専任取締役 | 工藤 | 田沼 | 義  | 正昭 |
| ※ | 専任取締役 | 飯蓮 | 澤野 | 恭維 | 隆男 |
| ※ | 専任取締役 | 金狩 | 野  |    | 秀  |

(注) 上記※印の取締役は執行役員を兼任しております。

### ●執行役員

|        |    |    |    |
|--------|----|----|----|
| 常務執行役員 | 真高 | 壁橋 | 理樹 |
| 常務執行役員 | 溝口 | 秀祥 | 彦美 |
| 常務執行役員 | 佐藤 | 豊榮 | 一  |
| 執行役員   | 入江 | 榮一 | 一  |
| 執行役員   | 福井 | 利文 | 雄  |
| 執行役員   | 横村 | 論紀 | 孝  |
| 執行役員   | 中北 | 正定 | 昭  |
| 執行役員   | 小河 | 野良 | 治  |
| 執行役員   | 中野 | 通慎 | 二  |
| 執行役員   | 荒森 | 幾  | 雄  |
| 執行役員   | 小松 | 春  | 雄  |
| 執行役員   | 浅田 | 隆  | 造  |
| 執行役員   | 内田 | 容  | 仁  |
| 執行役員   | 下田 |    | 央  |

## 従業員

(平成18年3月31日現在)

| 従業員数(前期比)    | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|--------------|-------|--------|
| 3,977名(26名減) | 40.2歳 | 17.1年  |

(注) 従業員数には当社から他社への出向者が含まれており、臨時従業員は含まれておりません。

## 主要な事業所

(平成18年3月31日現在)

**本社** 東京都中央区京橋二丁目4番16号

**営業所** 7-F&N/スガアノ北海道統括支店(札幌)、東北統括支店(仙台)、首都圏統括支店(東京)、北関東統括支店(宇都宮)、中部統括支店(名古屋)、関西統括支店(大阪)、中四国統括支店(広島)、九州統括支店(福岡)、健康事業北海道支店(札幌)、健康事業東北支店(仙台)、健康事業首都圏支店(東京)、健康事業北関東支店(宇都宮)、健康事業中部支店(名古屋)、健康事業関西支店(大阪)、健康事業中四国支店(広島)、健康事業九州支店(福岡)

**薬品** 薬品札幌支店、薬品仙台支店、薬品東京支店、薬品横浜支店、薬品関東支店(さいたま)、薬品名古屋支店、薬品京都支店、薬品大阪支店、薬品中国支店(広島)、薬品四国支店(高松)、薬品福岡支店、農薬札幌支店ほか5農薬支店、動薬北日本支店(仙台)ほか3動薬支店

**工場** 7-F&N/スガアノ関東工場(坂戸)、東海工場(藤枝)、大阪工場(高槻)

**薬品** 北上工場、小田原工場、岐阜工場(北方)

**研究所** 7-F&N/スガアノ食料健康総合研究所(坂戸)

**薬品** 微生物資源研究所(小田原)、創薬研究部門(横浜)、医薬開発部門(横浜ほか)、生物産業研究所(横浜)

**海外事務所** ロンドン事務所、シンガポール事務所、北京事務所、中国事務所(上海)

(注) 1. ( ) 内は、当該事業所が所在する都・市・町名を示しております。  
2. 平成18年4月1日付の組織改正により、上記事業所のうち創薬研究部門および医薬開発部門を廃止し、医薬総合研究所(横浜)を新設いたしました。

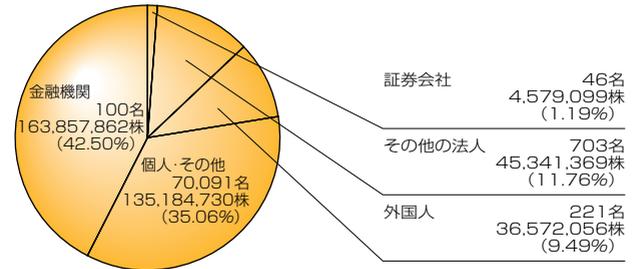
# 株式の状況

(平成18年3月31日現在)

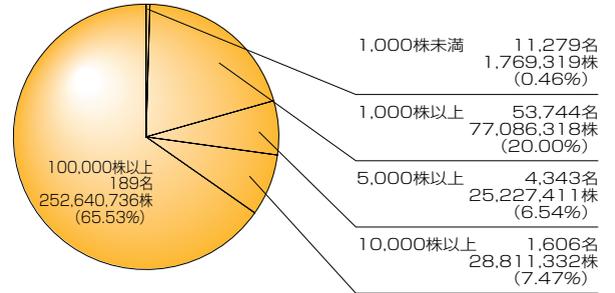
- 会社が発行する株式の総数 796,104,000株
- 発行済株式の総数 385,535,116株
- 株主数 71,161名 (前期末に比し31名減)
- 大株主 (上位10名)

| 株主名                     | 持株数 (出資比率) |        |
|-------------------------|------------|--------|
|                         | 千株         | %      |
| 株式会社みずほ銀行               | 18,927     | (4.91) |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口   | 16,965     | (4.40) |
| 第一生命保険相互会社              | 16,163     | (4.19) |
| 日本生命保険相互会社              | 14,707     | (3.81) |
| 富国生命保険相互会社              | 10,001     | (2.59) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口 | 9,438      | (2.45) |
| 明治乳業株式会社                | 7,249      | (1.88) |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行           | 6,804      | (1.77) |
| 東京海上日動火災保険株式会社          | 6,512      | (1.69) |
| 朝日生命保険相互会社              | 6,386      | (1.66) |

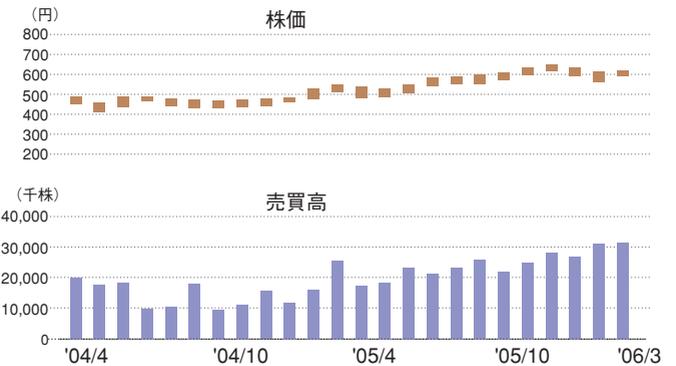
## 所有者別



## 持株数別



## 株価等の推移



# 株主メモ

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <b>事業年度</b>                  | 4月1日から翌年3月31日まで   |
| <b>基準日</b>                   | 期末配当金 3月31日<br>中間配当金 9月30日<br>※別途定める場合は、予め公告します。  |
| <b>定時株主総会</b>                | 6月下旬  |
| <b>公告方法</b>                  | 日本経済新聞に掲載<br>なお、会社法第440条第4項の規定により<br>決算公告は行っておりません。   |
| <b>株主名簿管理人</b>               | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| <b>同事務取扱場所</b>               | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部<br>〒171-8508<br>東京都豊島区西池袋一丁目7番7号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部<br>電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) |
| <b>電話お問い合わせ<br/>(郵便物送付先)</b> |   |
| <b>同取次所</b>                  | 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店<br>野村證券株式会社全国本支店   |

**実質株主の諸届  
に関する特例** 届出の内容によって証券会社等を経由すべき  
場合がありますので、あらかじめお取引の証  
券会社等にご確認ください。

**単元株式数** 1,000株  
**単元未満株式の買取  
および買増請求場所** 株主名簿管理人事務取扱場所および同取次所  
(証券保管振替機関に預託されている単元未  
満株式については、お取引の証券会社等にお  
申し出ください。)

## 《お知らせ》

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求  
に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名  
簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております  
ので、ご利用ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができます。お手続  
には振込指定書のご提出が必要となりますので、株主名簿管理人  
に用紙をご請求ください。
- 当社は、単元未満株式の買増制度を導入しております。単元未満  
株式(1,000株未満の株式)をご所有の株主様は、その単元未満株  
式と併せて1単元(1,000株)となる数の株式の買増しを請求する  
ことができます。制度の内容および手続の詳細につきましては株  
主名簿管理人にご照会ください。

## 株主様へのご優待 (一部変更のお知らせ)

3月31日現在の1,000株以上所有の株主様に対し、以下の基準で当社製品を贈呈いたします。

本年より、詰合せ内容の充実を図り、送付時期を10月末頃とさせていただきます。

なお、株主様のご意志により、優待品を障害者支援団体へご寄贈いただく  
こともできることといたしました(1,000株以上所有の株主様へは、招集ご  
通知とともにご案内のハガキを同封いたしております)。

ご寄贈いただきました結果につきましては、12月初旬送付予定の中間事  
業報告書および弊社ホームページにてご報告申し上げます。

- 1,000株以上：2,000円相当
- 3,000株以上：3,500円相当
- 5,000株以上：5,000円相当



●製品は一例です。

## 明治製菓株式会社

 ホームページ (<http://www.meiji.co.jp>)

(お問い合わせ先)

〒104-8002 東京都中央区京橋二丁目4番16号 電話 (03) 3272-6511 (代表)

  
環境に配慮した「大豆油インキ」  
を使用しています。

  
古紙配合率100%再生紙